

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

令和 6 年 4 月 1 7 日

秋田県知事 佐竹 敬久 殿

病院名	雄勝中央病院
開設者	秋田県厚生農業協同組合連合会
	代表理理事長 小 野 地 章 一
	(公 印 省 略)

医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。

また、併せて、同省令第 9 条に基づき、①. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。

（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

※募集人数の変更 3 名 ⇒ 2 名

①. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・項目番号 1 から 27 までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 28 から 38 までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 1 ー

病院施設番号 : 030979

臨床研修病院の名称 : 雄勝中央病院

記入日 : 西暦2024年4月17日

病院施設番号 (基幹型、協力型記入) 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	030979	臨床研修病院群の名称 (基幹型、協力型記入) 既に臨床研修病院群番号を有している臨 床研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 雄勝中央病院臨床研修病院群 番号
作成責任者の氏名及び連絡先 (基幹型、協力型記入) 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ コマツダ アツシ 氏名 (姓) 小松田 (名) 敦	役職 (内線6100) (直通電話(0183)73-5000) e-mail : ogachi-1@lily.ocn.ne.jp (携帯電話のメールアドレスは不可とします。)	
1. 病院の名称 (基幹型、協力型記入)	フリガナ カチュウカブ ヨウイン 雄勝中央病院		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 (基幹型、協力型記入)	〒 012-0055 (秋田 都・道・府・県) 湯沢市山田字勇ヶ岡 25 電話 : (0183)73-5000 FAX : (0183)73-3749 二次医療圏の名称 : 湯沢・雄勝医療圏		
3. 病院の開設者の氏名 (法 人の名称) (基幹型、協力型記入)	フリガナ アキケンコウセイノキョウキョウトウクミイルソウカイ タイセイリツリョウ オノチ ショウイフ 秋田県厚生農業協同組合連合会 代表理事理事長 小野地 章一		
4. 病院の開設者の住所 (法 人の主たる事務所の所在 地) (基幹型、協力型記入)	〒 010-0976 (秋田 都・道・府・県) 秋田市八橋南二丁目 10 番 16 号 電話 : (018)864-2621 FAX : (018)864-2675		
5. 病院の管理者の氏名 (基幹型、協力型記入)	フリガナ コマツダ アツシ 姓 小松田	名 敦	
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 (基幹型記入)	* 別紙1に記入 研修管理委員会の全ての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 (基幹型記入)	* 別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス (基幹型、協力型記入)	http:// www.ogachi-hsp.jp/		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 2 ー

病院施設番号 : 030979 臨床研修病院の名称 : 雄勝中央病院

		※
9. 医師（研修医を含む。）の員数 (基幹型・協力型記入)		常勤： 25.0 名、非常勤（常勤換算）： 9.1 名 計（常勤換算）： 34.1 名、医療法による医師の標準員数： 20.7 名 * 基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式 A-3 に記入
10. 救急医療の提供の実績 (基幹型・協力型記入)	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦 2023 年 8 月 01 日、告示番号：第 721 号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 ②. 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	①. 有 (117.300) m ² 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数： 6,528 件（うち診療時間外： 4,796 件） 1 日平均件数： 17.8 件（うち診療時間外： 13.1 件） 救急車取扱件数： 1,442 件（うち診療時間外： 914 件）
	診療時間外の勤務体制	医師： 1 名、看護師及び准看護師： 3 名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙 4 に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系 (①. 有 0. 無) 外科系 (①. 有 0. 無) 小児科 (①. 有 0. 無) その他 ()
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） (基幹型・協力型記入)		1. 一般： 193 床、2. 精神： 0 床、3. 感染症： 4 床 4. 結核： 0 床、5. 療養： 0 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 (基幹型・協力型記入)		* 別紙 2 に記入 年次報告の場合には、患者数は報告年度の前年度分、研修医の数は報告年度の前年度分の実績と当年度分の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度の前年度分、研修医の数は届出年度の次年度分及び次々年度分の想定を記入。
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） (基幹型・協力型記入)		1. 一般： 17.7 日、2. 精神： 0.0 日、3. 感染症： 0.0 日 4. 結核： 0.0 日、5. 療養： 0.0 日
14. 前年度の分娩件数 (基幹型・協力型記入)		正常分娩件数： 36 件、異常分娩件数： 0 件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 (基幹型・協力型記入)	開催回数	前年度実績： 2 回、今年度見込： 2 回 ※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記入
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙 4 に記入
	剖検数	前年度実績： 3 件、今年度見込： 3 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 ①. 有 0. 無 () 大学、() 病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 (基幹型・協力型記入)	研修医の宿舎	1. 有（単身用： 戸、世帯用： 戸） ①. 無（住宅手当： 50,000 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室	①. 有 (1 室) 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 (基幹型・協力型記入)	図書室の広さ	(44.600) m ²
	医学図書数	国内図書： 1,500 冊、 国外図書： 300 冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 80 種類、 国外雑誌： 60 種類
	図書室の利用可能時間	00:00 ~ 24:00 24 時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline 等の文献データベース (①. 有 0. 無)、教育用コンテンツ (①. 有 0. 無)、 その他 () 利用可能時間 (00:00 ~ 24:00) 24 時間表記
	医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター (1. 有 ①. 無)、 その他 ()

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 3 ー

病院施設番号： 030979

臨床研修病院の名称： 雄勝中央病院

18. 病歴管理体制 (基幹型・協力型記入)	病歴管理の責任者の氏名及び役職 診療に関する諸記録の管理方法 診療録の保存期間 診療録の保存方法	フリガナ イノエ シノブ 氏名(姓) 井上 (名) 忍 役職 ①. 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に:) (7) 年間保存 1. 文書 ②. 電子媒体 その他(具体的に:)											
19. 医療安全管理体制 (基幹型・協力型記入)	安全管理者の配置状況 安全管理部門の設置状況 患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 医療に係る安全管理委員会の開催状況 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	①. 有 (1 名) 0. 無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。 職員：専任 (1) 名、兼任 (13) 名 主な活動内容：例「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等 事故発生時の聞き取りや確認及び必要な指導、書類関係記載。および委員会用の資料作成等。 患者相談窓口の責任者の氏名等： フリガナ タカハシ カ 氏名(姓) 高橋 (名) 果奈 役職 医療福祉相談室係長 対応時間 (08:30 ~ 17:00) 24時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無： ①. 有 0. 無 ①. 有 0. 無 指針の主な内容： 安全の確保を目的とした改善のための方策及び事故などの発生時対応 年 (12) 回 活動の主な内容： 事故・ヒヤリハットの発生原因の分析、改善策の立案、実施並びに職員への周知、調査、見直し。 年 (2) 回 研修の主な内容： 安全管理のための基本的考え方及び、具体的な方策について職員に周知徹底を図ることを目的とする。規定では医療機関全体に共通する安全管理に関する内容について研修することになっている。 医療機関内における事故報告等の整備： ①. 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容： 定められた報告手順により、事故・ヒヤリハット事例の収集を行い、その分析による問題の把握・改善の立案・実施状況の評価につなげる。											
20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 (基幹型・協力型記入)	修了： 0名 中断： 0名												
21. 現に受け入れている研修医の数 (基幹型・協力型記入)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>前々年度</th> <th>前年度</th> <th>当該年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 年</td> <td>0名</td> <td>2名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>2 年</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table>		前々年度	前年度	当該年度	1 年	0名	2名	0名	2 年	0名	0名	2名
	前々年度	前年度	当該年度										
1 年	0名	2名	0名										
2 年	0名	0名	2名										
22. 受入可能定員 (基幹型・協力型記入)	許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出 患者数から算出	許可病床数 (197) 床÷10= (19) 名 年間入院患者数 (3,065) 人÷100= (30) 名											
23. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 (基幹型・協力型記入) 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>1. 精神保健福祉士：</td> <td>名(常勤： 名、非常勤： 名)</td> </tr> <tr> <td>2. 作業療法士：</td> <td>名(常勤： 名、非常勤： 名)</td> </tr> <tr> <td>3. 臨床心理技術者：</td> <td>名(常勤： 名、非常勤： 名)</td> </tr> </tbody> </table>	1. 精神保健福祉士：	名(常勤： 名、非常勤： 名)	2. 作業療法士：	名(常勤： 名、非常勤： 名)	3. 臨床心理技術者：	名(常勤： 名、非常勤： 名)						
1. 精神保健福祉士：	名(常勤： 名、非常勤： 名)												
2. 作業療法士：	名(常勤： 名、非常勤： 名)												
3. 臨床心理技術者：	名(常勤： 名、非常勤： 名)												

		9. その他の精神科技術職員： _____名（常勤：_____名、非常勤：_____名）
24. 臨床研修に関する第三者評価の受審状況 (基幹型記入)		1. 有（評価実施機関名：_____（_____年_____月_____日）） ①. 無 有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。 受審状況有りの場合、結果の公表 1. 有 0. 無

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 4 ー

病院施設番号： 030979 臨床研修病院の名称： 雄勝中央病院

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。	※	
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 (基幹型記入)		* 別紙 5 に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 (基幹型・協力型記入)		女性 1 年次研修医 (0) 名 2 年次研修医 (0) 名 男性 1 年次研修医 (0) 名 2 年次研修医 (0) 名
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 (基幹型・協力型記入)	院内保育所	院内保育所の有無 (①. 有 0. 無) 有を選択した場合、開所時間を記入してください (08 時 30 分 ~ 18 時 00 分) ※ 6 階フロアで湯沢市が運営 病児保育・はぐくみ 土・日・祝日・年末年始は休業 (※有料) 病児保育 (①. 有 0. 無) 夜間保育 (1. 有 ①. 無) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か (①. 可 0. 不可)
	保育補助	ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (1. 有 ①. 無) その他の補助 (具体的に :)
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所	休憩場所 (①. 有 0. 無) 授乳スペース (①. 有 0. 無)
	その他育児関連施設・取組があれば記入 (院外との連携した取組もあれば記入)	(※ 6 階フロアで湯沢市が運営の病児保育室・はぐくみは病院職員以外の利用も可能 (有料) 土・日・祝日・年末年始は休業)
	研修医のライフイベントの相談窓口	1. 有 ①. 無 窓口の名称がある場合記入 () 窓口の専任担当 1. 有 (名) 0. 無
	各種ハラスメントの相談窓口	窓口の名称を記入 (当院・ハラスメント相談窓口) ※令和 5 年 4 月、秋田県厚生連本所内にハラスメント対策チーム設立 (担当者 2 名) 窓口の専任担当 ①. 有 (当院・2 名) 0. 無

※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。		研修プログラムの名称： 雄勝中央病院卒後臨床研修プログラム プログラム番号： 030979702
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)		1 年次： 2 名、2 年次： 2 名
30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先	フリガナ コマツダ アツシ 氏名 (姓) (名) 小松田 敦 所属 役職 腎臓内科 院長 電 話： (0183) 73-5000 FAX： (0183) 73-3749 e-mail： ogachi-1@lily.ocn.ne.jp URL： http://www.ogachi-hsp.jp/

	資料請求先	住所 〒 0 1 2 - 0 0 5 5 (秋田 都・道・府・県) 湯沢市山田字勇ヶ岡 25 <table border="1"> <tr> <td data-bbox="762 286 906 324">担当部門</td> <td colspan="2" data-bbox="906 286 1449 324">担当者氏名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="762 353 906 392">総務管理課</td> <td data-bbox="906 324 1157 414"> 姓 佐々木 </td> <td data-bbox="1157 324 1449 414"> 名 大地 </td> </tr> </table> 電話 : (0 1 8 3) 7 3 — 5 0 0 0 FAX : (0 1 8 3) 7 3 — 3 7 4 9 e-mail : ogachi-1@lily.ocn.ne.jp URL : http : // www.ogachi-hsp.jp/	担当部門	担当者氏名		総務管理課	姓 佐々木	名 大地
担当部門	担当者氏名							
総務管理課	姓 佐々木	名 大地						

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－５－

病院施設番号： 030979 臨床研修病院の名称： 雄勝中央病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

30. 研修医の募集及び採用の方法（続き） (基幹型記入)	募集方法	①. 公募 2. その他（具体的に： _____）	
	応募必要書類 (複数選択可)	①. 履歴書、②. 卒業(見込み)証明書、③. 成績証明書、 ④. 健康診断書、5. その他（具体的に： _____）	
	選考方法 (複数選択可)	①. 面接 2. 筆記試験 その他（具体的に： _____）	
	募集及び選考の時期	募集時期： 7月01日頃から 選考時期： 8月01日頃から	
	マッチング利用の有無	①. 有 0. 無	
31. 研修プログラムの名称及び概要 (基幹型記入)		概要： * 別紙3に記入 (作成年月日： 西暦2004年5月12日)	
32. プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等） (基幹型記入) * プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入 * 副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式A-2に記入		(プログラム責任者) フガナ 才カ トシロ	
		氏名（姓）	氏名（名）
		大塚	聡郎
		所属 役職 脳神経外科 副院長 (副プログラム責任者) 1. 有 (名) ①. 無	
33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 (基幹型記入) 全ての臨床研修指導医等(協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。)について氏名等を記入してください。		* 別紙4に記入	
34. インターネットを用いた評価システム		①. 有 (・ EPOC 令和5年度より ・ その他 ()) 0. 無	
35. 研修開始時期 (基幹型、地域密着型記入)		西暦2024年4月01日	
36. 研修医の処遇 (基幹型・協力型記入)	処遇の適用 (基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。)	1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 ②. 病院独自の処遇とする。	
	常勤・非常勤の別	①. 常勤 2. 非常勤	
	研修手当	一年次の支給額（税込み） 基本手当／月（ 499,800 円） 賞与／年（ 756,942 円）	二年次の支給額（税込み） 基本手当／月（ 531,400 円） 賞与／年（ 1,250,400 円）
		時間外手当： ①. 有 0. 無 休日手当： ①. 有 0. 無	
	勤務時間	基本的な勤務時間（ 08：30 ～ 17：00 ）24時間表記 休憩時間（ 12：00 ～ 13：00 ） 時間外勤務の有無： ①. 有 0. 無	

	休暇	有給休暇（１年次： １０日、２年次： ２０日） 夏季休暇（①. 有 〇. 無） 年末年始（①. 有 〇. 無） その他休暇（具体的に：盆休暇、年末年始休暇、各種慶弔休暇、産前産後休暇）
	当直	回数（約 ３回／月）
	研修医の宿舎（再掲）	１. 有（単身用： 戸、世帯用： 戸） ①. 無（住宅手当： ５０,０００円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「〇」と記入してください。
	研修医室（再掲）	１. 有（ １室） 〇. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
	社会保険・労働保険	公的医療保険（東京都農林漁業団体健康保険組合） 公的年金保険（厚生年金） 労働者災害補償保険法の適用（①. 有 〇. 無）、 国家・地方公務員災害補償法の適用（１. 有 ①. 無） 雇用保険（①. 有 〇. 無）

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－６－

病院施設番号： 〇 3 0 9 7 9 臨床研修病院の名称： 雄勝中央病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） （基幹型・協力型記入）	健康管理	健康診断（年 ２回） その他（具体的に ）
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入（①. する 〇. しない） 個人加入（１. 強制 ①. 任意）
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加：①. 可 〇. 否
		学会、研究会等への参加費用支給の有無：①. 有 〇. 無
	院内保育所（再掲）	院内保育所の有無 （①. 有 〇. 無） 有を選択した場合、開所時間を記入してください（08時30分～18時00分） ※6階フロアで湯沢市が運営 病児保育・はぐくみ 土・日・祝日・年末年始は休業（※有料）
		病児保育 （①. 有 〇. 無） 夜間保育 （１. 有 ①. 無）
		上記保育所は研修医の子どもに使用可能か （①. 可 〇. 不可）
		保育補助（再掲） ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 （１. 有 ①. 無） その他の補助（具体的に： ）
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）	休憩場所 （①. 有 〇. 無） 授乳スペース （①. 有 〇. 無）
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）	（※6階フロアで湯沢市が運営の病児保育室・はぐくみは病院職員以外の利用も可能（有料） 土・日・祝日・年末年始は休業）

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称 : 雄勝中央病院

病院施設番号 : 030979

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 （部門）	小児科	産婦人科	又は		精神科	その他の研修を行う診療科						合 計
							産 科	婦人科		整形外科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼 科	検査科		
年間入院患者実数 （ ）内は救急件数又は分娩件数	1, 047	(6, 520)	1, 178		89	181 (36)	()			493	0	0	77			3, 065
年間新外来患者数	2, 769		1, 218		1, 586	352				1, 279	385	1, 645	334			9, 598
1 日平均外来患者数 （ ）内は年間外来診療日数	182. 3 (243)	17. 8 (366)	57. 9 (243)	()	27. 9 (243)	20. 0 (243)	()	()	()	60. 9 (243)	23. 1 (243)	35. 0 (243)	28. 4 (243)	()	()	
平均在院日数	21. 7		14. 7		3. 0	6. 3				33. 9	0	0	2. 5			
常勤医師数 （うち臨床研修指導医（指導医） 数）	8 (5)	()	7 (4)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	()	()	()	3 (2)	()	2 ()	1 (1)	1 ()	()	25 (15)

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び 14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和 5 年度分) No. 1								臨床研修病院の名称 : 雄勝中央病院						
								病院施設番号 : 030979						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	11～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週
雄勝中央病院	内科	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1		1
秋田大学医学部附属病院	内科													
東北大学病院	内科													
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	内科													
能代厚生医療センター	内科													
秋田厚生医療センター	内科						1	1	1	1				
由利組合総合病院	内科													
大曲厚生医療センター	内科													
平鹿総合病院	内科													
	内科 計													
雄勝中央病院	外科	1				1								
秋田大学医学部附属病院	外科													
東北大学病院	外科													
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	外科													
能代厚生医療センター	外科													
秋田厚生医療センター	外科													
由利組合総合病院	外科													
大曲厚生医療センター	外科													
平鹿総合病院	外科													
	外科 計													

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和 5 年度分) No. 2								臨床研修病院の名称 : 雄勝中央病院						
								病院施設番号 : 030979						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	11～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週
雄勝中央病院	産婦人科								1		1			
秋田大学医学部附属病院	産婦人科													
能代厚生医療センター	産婦人科													
秋田厚生医療センター	産婦人科													
由利組合総合病院	産婦人科													
大曲厚生医療センター	産婦人科													
平鹿総合病院	産婦人科													
	産婦人科 計													
雄勝中央病院	小児科			1			1							
秋田大学医学部附属病院	小児科													
東北大学病院	小児科													
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	小児科													
能代厚生医療センター	小児科													
秋田厚生医療センター	小児科													
由利組合総合病院	小児科													
大曲厚生医療センター	小児科													
平鹿総合病院	小児科													
	小児科 計													

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別業で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別業で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各 4 週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間 4 週について 1 人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和 5 年度分) No. 3								臨床研修病院の名称 : 雄勝中央病院						
								病院施設番号 : 030979						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	11～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週
雄勝中央病院	救急 (麻酔科含む)		1		1			1		1		1	1	
秋田大学医学部附属病院	救急 (麻酔科含む)													
能代厚生医療センター	救急 (麻酔科含む)													
秋田厚生医療センター	救急 (麻酔科含む)													
由利組合総合病院	救急 (麻酔科含む)													
大曲厚生医療センター	救急 (麻酔科含む)													
平鹿総合病院	救急 (麻酔科含む)													
	救急 (麻酔科含む) 計													
雄勝中央病院	地域医療									1			1	1
秋田大学医学部附属病院	地域医療													
東北大学病院	地域医療													
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	地域医療				1				1	1				
倶知安厚生病院	地域医療													
宮古病院	地域医療													
山田病院	地域医療													
能代厚生医療センター	地域医療													
秋田厚生医療センター	地域医療													
由利組合総合病院	地域医療													
大曲厚生医療センター	地域医療													
平鹿総合病院	地域医療													
	地域医療 計													

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和 6 年度分) No. 1								臨床研修病院の名称 : 雄勝中央病院						
								病院施設番号 : 030979						
基幹型病院名	担当分野	1~ 4 週	5~ 8 週	9~ 12 週	11~ 16 週	17~ 20 週	21~ 24 週	25~ 28 週	29~ 32 週	33~ 36 週	37~ 40 週	41~ 44 週	45~ 48 週	49~ 52 週
雄勝中央病院	内科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
秋田大学医学部附属病院	内科							1	1	1	1	1	1	1
東北大学病院	内科													
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	内科													
能代厚生医療センター	内科													
秋田厚生医療センター	内科													
由利組合総合病院	内科	1	1	1	1	1	1							
大曲厚生医療センター	内科													
平鹿総合病院	内科													
	内科 計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
雄勝中央病院	外科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
秋田大学医学部附属病院	外科							1	1	1	1	1	1	1
東北大学病院	外科													
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	外科													
能代厚生医療センター	外科													
秋田厚生医療センター	外科													
由利組合総合病院	外科	1	1	1	1	1	1							
大曲厚生医療センター	外科													
平鹿総合病院	外科													
	外科 計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別業で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別業で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和 6 年度分) No. 2								臨床研修病院の名称 : 雄勝中央病院						
								病院施設番号 : 030979						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	11～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週
雄勝中央病院	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
秋田大学医学部附属病院	産婦人科							1	1	1	1	1	1	1
能代厚生医療センター	産婦人科	1	1	1	1	1	1							
秋田厚生医療センター	産婦人科													
由利組合総合病院	産婦人科													
大曲厚生医療センター	産婦人科													
平鹿総合病院	産婦人科													
	産婦人科 計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
雄勝中央病院	小児科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
秋田大学医学部附属病院	小児科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
東北大学病院	小児科													
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	小児科													
能代厚生医療センター	小児科													
秋田厚生医療センター	小児科													
由利組合総合病院	小児科													
大曲厚生医療センター	小児科													
平鹿総合病院	小児科													
	小児科 計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和 6 年度分) No.3								臨床研修病院の名称 : 雄勝中央病院						
								病院施設番号 : 030979						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	11～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週
雄勝中央病院	救急（麻酔科含む）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
秋田大学医学部附属病院	救急（麻酔科含む）							1	1	1	1	1	1	1
能代厚生医療センター	救急（麻酔科含む）	1	1	1	1	1	1							
秋田厚生医療センター	救急（麻酔科含む）													
由利組合総合病院	救急（麻酔科含む）													
大曲厚生医療センター	救急（麻酔科含む）													
平鹿総合病院	救急（麻酔科含む）													
	救急（麻酔科含む）計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
雄勝中央病院	地域医療	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
秋田大学医学部附属病院	地域医療					1	1	1	1	1	1			
東北大学病院	地域医療													
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	地域医療													
倶知安厚生病院	地域医療													
宮古病院	地域医療													
山田病院	地域医療	1	1	1	1							1	1	1
能代厚生医療センター	地域医療													
秋田厚生医療センター	地域医療													
由利組合総合病院	地域医療													
大曲厚生医療センター	地域医療													
平鹿総合病院	地域医療	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	地域医療 計													

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別業で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別業で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和 7 年度分) No. 1								臨床研修病院の名称 : 雄勝中央病院						
								病院施設番号 : 030979						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	11～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週
雄勝中央病院	内科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
秋田大学医学部附属病院	内科							1	1	1	1	1	1	1
東北大学病院	内科													
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	内科													
能代厚生医療センター	内科													
秋田厚生医療センター	内科	1	1	1	1	1	1							
由利組合総合病院	内科													
大曲厚生医療センター	内科													
平鹿総合病院	内科													
	内科 計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
雄勝中央病院	外科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
秋田大学医学部附属病院	外科							1	1	1	1	1	1	1
東北大学病院	外科													
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	外科													
能代厚生医療センター	外科													
秋田厚生医療センター	外科	1	1	1	1	1	1							
由利組合総合病院	外科													
大曲厚生医療センター	外科													
平鹿総合病院	外科													
	外科 計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和 7 年度分) No.2								臨床研修病院の名称 : 雄勝中央病院						
								病院施設番号 : 030979						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	11～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週
雄勝中央病院	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
秋田大学医学部附属病院	産婦人科							1	1	1	1	1	1	1
能代厚生医療センター	産婦人科	1	1	1	1	1	1							
秋田厚生医療センター	産婦人科													
由利組合総合病院	産婦人科													
大曲厚生医療センター	産婦人科													
平鹿総合病院	産婦人科													
	産婦人科 計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
雄勝中央病院	小児科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
秋田大学医学部附属病院	小児科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
東北大学病院	小児科													
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	小児科													
能代厚生医療センター	小児科													
秋田厚生医療センター	小児科													
由利組合総合病院	小児科													
大曲厚生医療センター	小児科													
平鹿総合病院	小児科													
	小児科 計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和 7 年度分) No. 3								臨床研修病院の名称 : 雄勝中央病院						
								病院施設番号 : 030979						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	11～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週
雄勝中央病院	救急 (麻酔科含む)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
秋田大学医学部附属病院	救急 (麻酔科含む)							1	1	1	1	1	1	1
能代厚生医療センター	救急 (麻酔科含む)	1	1	1	1	1	1							
秋田厚生医療センター	救急 (麻酔科含む)													
由利組合総合病院	救急 (麻酔科含む)													
大曲厚生医療センター	救急 (麻酔科含む)													
平鹿総合病院	救急 (麻酔科含む)													
	救急 (麻酔科含む) 計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
雄勝中央病院	地域医療	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
秋田大学医学部附属病院	地域医療					1	1	1	1	1	1			
東北大学病院	地域医療													
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	地域医療													
倶知安厚生病院	地域医療													
宮古病院	地域医療													
山田病院	地域医療	1	1	1	1							1	1	1
能代厚生医療センター	地域医療													
秋田厚生医療センター	地域医療													
由利組合総合病院	地域医療													
大曲厚生医療センター	地域医療													
平鹿総合病院	地域医療	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	地域医療 計													

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別業で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別業で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和 8 年度分) No. 1								臨床研修病院の名称 : 雄勝中央病院						
								病院施設番号 : 030979						
基幹型病院名	担当分野	1~ 4 週	5~ 8 週	9~ 12 週	11~ 16 週	17~ 20 週	21~ 24 週	25~ 28 週	29~ 32 週	33~ 36 週	37~ 40 週	41~ 44 週	45~ 48 週	49~ 52 週
雄勝中央病院	内科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
秋田大学医学部附属病院	内科							1	1	1	1	1	1	1
東北大学病院	内科													
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	内科													
能代厚生医療センター	内科													
秋田厚生医療センター	内科	1	1	1	1	1	1							
由利組合総合病院	内科													
大曲厚生医療センター	内科													
平鹿総合病院	内科													
	内科 計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
雄勝中央病院	外科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
秋田大学医学部附属病院	外科							1	1	1	1	1	1	1
東北大学病院	外科													
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	外科													
能代厚生医療センター	外科													
秋田厚生医療センター	外科	1	1	1	1	1	1							
由利組合総合病院	外科													
大曲厚生医療センター	外科													
平鹿総合病院	外科													
	外科 計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和 8 年度分) No. 2								臨床研修病院の名称 : 雄勝中央病院						
								病院施設番号 : 030979						
基幹型病院名	担当分野	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	11～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週
雄勝中央病院	産婦人科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
秋田大学医学部附属病院	産婦人科							1	1	1	1	1	1	1
能代厚生医療センター	産婦人科	1	1	1	1	1	1							
秋田厚生医療センター	産婦人科													
由利組合総合病院	産婦人科													
大曲厚生医療センター	産婦人科													
平鹿総合病院	産婦人科													
	産婦人科 計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
雄勝中央病院	小児科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
秋田大学医学部附属病院	小児科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
東北大学病院	小児科													
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	小児科													
能代厚生医療センター	小児科													
秋田厚生医療センター	小児科													
由利組合総合病院	小児科													
大曲厚生医療センター	小児科													
平鹿総合病院	小児科													
	小児科 計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別業で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別業で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和 8 年度分) No.3								臨床研修病院の名称 : 雄勝中央病院						
								病院施設番号 : 030979						
基幹型病院名	担当分野	1~ 4 週	5~ 8 週	9~ 12 週	11~ 16 週	17~ 20 週	21~ 24 週	25~ 28 週	29~ 32 週	33~ 36 週	37~ 40 週	41~ 44 週	45~ 48 週	49~ 52 週
雄勝中央病院	救急 (麻酔科含む)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
秋田大学医学部附属病院	救急 (麻酔科含む)							1	1	1	1	1	1	1
能代厚生医療センター	救急 (麻酔科含む)	1	1	1	1	1	1							
秋田厚生医療センター	救急 (麻酔科含む)													
由利組合総合病院	救急 (麻酔科含む)													
大曲厚生医療センター	救急 (麻酔科含む)													
平鹿総合病院	救急 (麻酔科含む)													
	救急 (麻酔科含む) 計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
雄勝中央病院	地域医療	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
秋田大学医学部附属病院	地域医療					1	1	1	1	1	1			
東北大学病院	地域医療													
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	地域医療													
倶知安厚生病院	地域医療													
宮古病院	地域医療													
山田病院	地域医療	1	1	1	1							1	1	1
能代厚生医療センター	地域医療													
秋田厚生医療センター	地域医療													
由利組合総合病院	地域医療													
大曲厚生医療センター	地域医療													
平鹿総合病院	地域医療	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	地域医療 計													

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別業で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別業で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030979

臨床研修病院の名称： 雄勝中央病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経 験 年数	指導医講習会等 の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
腎臓内科	コマツダ アツシ 小松田 敦	雄勝中央病院	院長	38	○	腎臓専門医 リウマチ専門 医（指導医） 一般社団法人日本内科学会 認定内科医 第2回東北ブロック医師臨 床研修指導医ワークショッ プ 受講済（東北厚生局）	030979702	3・4
麻酔科	ヤベ マサヤ 矢部 雅 哉	雄勝中央病院	副院長	38	○	日本麻酔科学会専門医 第3回 医師臨床研修指導医 ワークショップ受講済 （秋田県臨床研修協議会）	030979702	4

※ 「担当分野」欄には、様式A-10 別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030979

臨床研修病院の名称： 雄勝中央病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会等 の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
脳神経外科 救急部門	オオツカ トシロウ 大塚 聡郎	雄勝中央病院	副院長	31	○	日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医 平成18年度秋田県厚生農 業協同組合連合会臨床指導 医ワークショップ受講済(秋 田県厚生連) 平成26年度プログラム責 任者養成講習会(厚生労働省 後援) (臨床研修協議会)	030979702	1・4

※ 「担当分野」欄には、様式A-10 別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

※ 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号：030979

臨床研修病院の名称：雄勝中央病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経 験 年数	指導医講習会等 の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
整形外科 救急部門	ウラヤマ マサカズ 浦 山 雅 和	雄勝中央病院	副院長	30	○	日本整形外科学会専門医 リウマチ専門医（指導医） 第6回 日本医師会「指導医 のための教育ワークショップ」 受講済（秋田県医師会）	030979702	4
産婦人 (地域医療)	ツバキ ヒロミツ 椿 洋 光	雄勝中央病院	副院長	30	○	日本産婦人科学会専門医 第5回 医師臨床研修指導医 ワークショップ ^o 受講済（秋田県臨床 研修協議会）	030979702	4

※ 「担当分野」欄には、様式A-10 別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

※ 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030979

臨床研修病院の名称： 雄勝中央病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経 験 年数	指導医講習会等 の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
腎臓内科	オオタニ ヒロシ 大 谷 浩	雄勝中央病院	副院長	36	○	日本内科学会総合内科専門 医、日本腎臓学会腎臓専門 医、日本透析学会透析専門 医、指導医講習会受講済	030979702	4
外 科 救急部門	イmano ヒロシ 今野 広志	雄勝中央病院	診療部長	29	○	外科学会専門医、消化器外科 学会専門医・指導医、がん 治療学会認定医、医師会認定 産業医、指導医講習会受講済	030979702	4

- ※ 「担当分野」欄には、様式A-10 別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。
- ※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
- ※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
- ※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。
- ※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

- * 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
- * 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
- ※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
- ※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030979

臨床研修病院の名称： 雄勝中央病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経 験 年数	指導医講習会等 の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
小児科 救急部門	キクチ 菊地 ワタル 済	雄勝中央病院	診療部長	29	○	日本小児科学会専門医 第1回 日本医師会「指導医 のための教育ワークショップ」受講 済（秋田県医師会）	030979702	4
内 科 救急部門	サイトウ 齋 藤 ヨシノブ 美 武	雄勝中央病院	診療部長	27	○	一般社団法人日本内科学会 認定内科医 平成 29 年度 日本医師会「指 導医のための教育ワークシ ョップ」受講済（秋田県医師 会主催）	030979702	4

※ 「担当分野」欄には、様式A-10 別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号 : 030979

臨床研修病院の名称 : 雄勝中央病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経 験 年数	指導医講習会等 の受講経験 有 : ○ 無 : ×	資格等	プログラム 番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
脳神経外科 救急部門	クニツカ 國 塚 ヒサノリ 久 法	雄勝中央病院	診療部長	28	○	日本脳神経外科学会専門医 第10回 医師臨床研修指導 医ワークショップ受講済(秋田県臨 床研修協議会)	030979702	4
整形外科 救急部門	マエカワ 前 川 シゲト 重 人	雄勝中央病院	診療部長	24	○	日本整形外科学会専門医 第4回 医師臨床研修指導医 ワークショップ受講済(秋田県臨 床研修協議会)	030979702	4

- ※ 「担当分野」欄には、様式A-10 別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。
 - ※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
 - ※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。
 - ※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。
 - ※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。
- * 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
- * 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
- ※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること
 - ※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030979

臨床研修病院の名称： 雄勝中央病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経 験 年数	指導医講習会等 の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
内 科 救急部門	イノウエ タケシ 井上 武	雄勝中央病院	科長	16	○	一般社団法人日本内科学会 認定内科医 第14回 医師臨床研修指導 医ワークショップ受講済（秋田県臨 床研修協議会）	030979702	4
循環器科 救急部門	アベ タツ ミ 阿部 起 実	雄勝中央病院	科長	14	○	日本内科学会認定内科医 平成28年度 日本医師会「指 導医のための教育ワークシ ョップ」受講済（秋田県医師 会主催）	030979702	4

※ 「担当分野」欄には、様式A-10 別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030979

臨床研修病院の名称： 雄勝中央病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経 験 年数	指導医講習会等 の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 (指導医)
外 科 内 科 救急部門	ヒビノ マサノリ 日比野 政 則	雄勝中央病院	科長	26	○	学会認定・自己血輸血責任医師 第1回 日本医師会「指導医 のための教育ワークショップ」受講 済（秋田県医師会）	030979702	4
眼 科 救急部門	ゴトウ ユタカ 後藤 豊	雄勝中央病院	科長	29	○	日本眼科学会専門医 第11回 医師臨床研修指導 医ワークショップ受講済 (秋田県臨床研修協議会)	030979702	4

※ 「担当分野」欄には、様式A-10 別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

※ 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等

病院施設番号： 030979

臨床研修病院の名称： 雄勝中央病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経 験 年数	指導医講習会等 の受講経験 有：○ 無：×	資格等	プログラム 番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
検査科 （CPC担当）	イシナリ タカヒロ 石 成 隆 寛	雄勝中央病院	医長	6	×		030979702	

※ 「担当分野」欄には、様式A-10 別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

研修医名簿

様式 A-3

(No. 1)

病院施設番号： 030979

臨床研修病院の名称： 雄勝中央病院

記入日：西暦2024年4月17日

[illegible]

※ 当該病院の研修プログラムで研修を行っている全ての研修医（採用予定を含む。）について研修開始年月日順に記入すること（歯科医師は記入しない）。「研修開始年月日」欄には、当該研修医が最初に（中断がある場合は中断前に）研修を開始した年月日を記入すること。「研修プログラム番号」欄には、当該研修医が研修を行っている研修プログラムの番号を記入すること。「備考」欄には、当該研修医が過去に中断している場合に当該病院で研修を開始した年月日を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

※ 小児科重点プログラム、産科重点プログラム、地域医療重点プログラム及び基礎研究医プログラムに該当するプログラムで研修を行っている研修医の場合は、研修プログラム番号を記入した上で、小児科プログラム→「小」、産科プログラム→「産」、地域医療重点プログラム→「地」、基礎研究医プログラム→「基」に○をすること。

25. 臨床研修病院群の時間外・休日労働最大想定時間数の記載（基幹型記入）

基幹型臨床研修病院の名称（所在都道府県）： 雄勝中央病院（ 秋田県 ）

研修プログラムの名称： 雄勝中央病院卒後臨床研修プログラム

病院名	病院施設番号	種別	所在都道府県	時間外・休日労働 （年単位換算） 最大想定時間数	おおよその当直・日直回数 ※宿日直許可が取れている場合はその旨を記載	参考 時間外・休日労働 （年単位換算） 前年度実績	C-1水準 適用
雄勝中央病院	030979	基幹型	秋田県	121時間	月1～3回 ※宿直（当直）について、17：00～翌08：30 許可。 日直について、不許可。	令和5年度実績 ～ 研修医① 合計 8時間23分 研修医② 合計 2時間54分	適用 申請中 申請予定
秋田大学医学部附属病院	030064	協力型	秋田県				適用 申請中 申請予定
平鹿総合病院	030066	協力型	秋田県				適用 申請中 申請予定
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	030401	協力型	愛知県				適用 申請中 申請予定
大曲厚生医療センター	030829	協力型	秋田県				適用 申請中 申請予定
秋田厚生医療センター	030929	協力型	秋田県				適用 申請中 申請予定
能代厚生医療センター	031224	協力型	秋田県				適用 申請中 申請予定
倶知安厚生病院	041514	協力型	北海道				適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定

※ 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入すること。
研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度（プログラム開始年度）の想定を記入すること。

※ 該当する項目について、基幹型臨床研修病院を筆頭にして、研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院について、施設番号順に結めて記入すること。

※ 病院群を構成する基幹型臨床研修病院及び研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院の病院施設番号、病院種別（基幹型・協力型）、所在都道府県、時間外・休日労働（年単位換算）の最大想定時間数、おおよその当直・日直回数（宿日直許可が取れている場合はその旨）、前年度の時間外休日労働の年単位換算実績及び、C-1水準適用の状況を記入すること。

※ 最大想定時間数は、プログラムに従事する臨床研修医が、該当する研修病院において実際に従事することが見込まれる時間数について、前年度実績も踏まえ、実態と乖離することのないよう、適切に記入すること。

※ 臨床研修医においては、従事する全ての業務が研修プログラムに基づくものとなるため、A水準又はC-1水準しか適用されないことに留意すること。

7. 病院群の構成等

様式 A-10別表

基幹型又は地域密着型臨床研修病院の名称（所在都道府県）： 雄勝中央病院（秋田県）

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院				臨床研修協力施設					研修プログラム		
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
秋田県	湯沢・雄勝	雄勝中央病院 (病院施設番号:030979)		秋田県	秋田周辺		秋田大学医学部附属病院 (病院施設番号:030064)		秋田県	秋田周辺		秋田県赤十字血液センター		雄勝中央病院卒後臨床 研修プログラム	2
				秋田県	由利本荘・にかほ		由利組合総合病院 (病院施設番号:030065)		岩手県	下閉伊郡		岩手県立山田病院 (病院施設番号:032476)			
				秋田県	横手		平鹿総合病院 (病院施設番号:030066)		秋田県	湯沢雄勝		菅医院 (病院施設番号:086135)			
				愛知県	名古屋		日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 (病院施設番号:030401)					(病院施設番号:)			
				岩手県	宮古		岩手県立宮古病院 (病院施設番号:030784)					(病院施設番号:)			
				秋田県	大仙・仙北		大曲厚生医療センター (病院施設番号:030829)					(病院施設番号:)			
				秋田県	秋田周辺		秋田厚生医療センター (病院施設番号:030929)					(病院施設番号:)			
				秋田県	大館・鹿角		かつの厚生病院 (病院施設番号:031217)					(病院施設番号:)			
				秋田県	北秋田		北秋田市立病院 (病院施設番号:031221)					(病院施設番号:)			
				秋田県	能代・山本		能代厚生医療センター (病院施設番号:031224)					(病院施設番号:)			
				秋田県	秋田周辺		湖東厚生病院 (病院施設番号:031234)					(病院施設番号:)			
				秋田県	湯沢・雄勝		佐藤病院 (病院施設番号:031246)					(病院施設番号:)			
				秋田県	湯沢・雄勝		町立羽後病院 (病院施設番号:031247)					(病院施設番号:)			
				秋田県	横手		横手興生病院 (病院施設番号:032471)					(病院施設番号:)			
北海道	後志		倶知安厚生病院 (病院施設番号:041514)					(病院施設番号:)							

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

病院群に追加する日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院は、名古屋第一病院が基幹病院として運用する卒後臨床研修プログラムの協力病院として当院が参加し、毎年3名程度の研修医を受け入れているほか、予てより研修医のみならず医師の派遣を受けた実績を有するなど、関連の深い病院である。当院研修医の救急医療の研修体制について充実を図るため、独立した救急部門を有し、救急取扱患者数も豊富である名古屋第一病院を救急部門の連携病院としている。

地域特性や地域における患者特性の研修を目的として、岩手県立山田病院および倶知安厚生病院は院内における総合診療をはじめとして院外にて実施の訪問看護・訪問リハビリ・特別養護老人ホームへの往診等、地域医療部門の連携病院としている。また、岩手県立山田病院・倶知安厚生病院および岩手県立宮古病院と選択科目部門の連携病院としている。

- ※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。
- ※ 病院群を構成する全ての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか、以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。
- ※ 当該病院群に係る全ての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む。）を「研修プログラム」欄に記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和5年度開催回数2回）

病院施設番号：030979 臨床研修病院の名称：雄勝中央病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ コマツダ アツシ		J A 秋田厚生連 雄勝中央病院	院長	研修管理委員長 指導医
姓 小松田	名 敦			
フリガナ サトウ ノブオ		佐藤病院	理事長	研修実施責任者 指導医
姓 佐藤	名 宣夫			
フリガナ キサ ケンゴ		J A 北海道厚生連 俱知安厚生病院	地域医療研修センター長	研修実施責任者 指導医
姓 木佐	名 健悟			
フリガナ ハタノ ヨシアキ		J A 秋田厚生連 湖東厚生病院	院長	研修実施責任者 指導医
姓 波多野	名 善明			
フリガナ サトウ マコト		J A 秋田厚生連 北秋田市民病院	副院長	研修実施責任者 指導医
姓 佐藤	名 誠			
フリガナ クボタ ヒトシ		J A 秋田厚生連 能代厚生医療センター	副院長	研修実施責任者 指導医
姓 久保田	名 均			
フリガナ イイダ マサキ		J A 秋田厚生連 秋田厚生医療センター	診療部長	研修実施責任者 指導医
姓 飯田	名 正毅			
フリガナ ドウメン タカヒロ		J A 秋田厚生連 由利組合総合病院	診療部長	研修実施責任者 指導医
姓 道免	名 孝洋			
フリガナ ミウラ コウ		J A 秋田厚生連 大曲厚生医療センター	院長	研修実施責任者 指導医
姓 三浦	名 康			
フリガナ タケダ サトル		J A 秋田厚生連 平鹿総合病院	診療部長	研修実施責任者 指導医
姓 武田	名 智			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和5年度開催回数2回）

病院施設番号：030979

臨床研修病院の名称：雄勝中央病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ サソウ マサユキ		J A 秋田厚生連 かつの厚生病院	副院長	研修実施責任者 指導医
姓 笹生	名 昌之			
フリガナ アベ シュンイチロウ		社会医療法人 興生会 横手興生病院	院長	研修実施責任者 指導医
姓 安部	名 俊一郎			
フリガナ ヨシダ ケン		岩手県立宮古病院	消化器内科長兼医療研修科長兼 災害医療科長	研修実施責任者 指導医
姓 吉田	名 健			
フリガナ ハセガワ ヒトシ		秋田大学附属病院	教授	研修実施責任者 指導医
姓 長谷川	名 仁志			
フリガナ ツツキ ミチタカ		日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一字病院	集中治療部長 兼 救急部長 兼 救命救急センター長	研修実施責任者 指導医
姓 都築	名 通孝			
フリガナ カマダ アツシ		羽後町立羽後病院	院長	研修実施責任者 指導医
姓 鎌田	名 敦志			
フリガナ スガ ヤスノリ		菅医院	院長	研修実施責任者 (施設)
姓 菅	名 康德			
フリガナ オモカワ ススム		秋田県赤十字血液センター	所長	研修実施責任者 (施設)
姓 面川	名 進			
フリガナ アベ カオル		岩手県立山田病院	院長	研修実施責任者 指導医 (施設)
姓 阿部	名 薫			
フリガナ オノザキ ケイスケ		医療法人 小野崎医院	院長	(外部委員)
姓 小野崎	名 圭助			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和5年度開催回数2回）

病院施設番号：030979 臨床研修病院の名称：雄勝中央病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ オオツカ トシロウ		雄勝中央病院	副院長	研修プログラム責任者 指導医
姓 大塚	名 聡郎			
フリガナ ウラヤマ マサカズ		雄勝中央病院	副院長	指導医
姓 浦山	名 雅和			
フリガナ ツバキ ヒロミツ		雄勝中央病院	副院長	指導医
姓 椿	名 洋光			
フリガナ オオタニ ヒロシ		雄勝中央病院	副院長	指導医
姓 大谷	名 浩			
フリガナ アベ タツミ		雄勝中央病院	診療科長	指導医
姓 阿部	名 起実			
フリガナ サトウ ミナコ		雄勝中央病院	副院長・看護部長	看護部門責任者
姓 佐藤	名 美奈子			
フリガナ ヤマウチ ジュンコ		雄勝中央病院	看護副部長	看護部門責任者
姓 山内	名 純子			
フリガナ サナダ トモノリ		雄勝中央病院	事務長	事務部門責任者
姓 真田	名 智則			
フリガナ				
姓	名			
フリガナ				
姓	名			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

31. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号 : 030979702

病院施設番号 : 030979

臨床研修病院の名称 : 雄勝中央病院

臨床研修病院群番号 :

臨床研修病院群名 : 雄勝中央病院臨床研修病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	雄勝中央病院卒後臨床研修プログラム				
2. 研修プログラムの特色	当院は地方の中核病院であり、地域住民はプライマリーケアから専門医療、第2次救急まで幅広い診療を当院に期待している。そのような状況のもと、当プログラムでは、専門に偏らない豊富な臨床経験を積み、適切な初期診療能力を習得できるようにしている。さらに、専門科を決めた後は、その科で専門知識、診療能力の習得が可能である。				
3. 臨床研修の目標の概要	医師としての人格を涵養し、日常診療において頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、幅広い基本的な診療能力を身につけることを目標とする。				
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)				
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。				
5. 臨床研修を行う分野	研修分野ごとの病院又は施設 (研修分野ごとの研修期間) * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称 (病院施設番号) を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。				
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来	
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週	
必修科目・分野	内科	030979	雄勝中央病院	24週	4週
	救急部門	030979 030401	雄勝中央病院 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院	12週	
	地域医療	030979 041514 031234 031221 031246 086135 031217 034276 031247	雄勝中央病院 倶知安厚生病院 湖東厚生病院 北秋田市民病院 佐藤病院 菅医院 かづの厚生病院 岩手県立山田病院 町立羽後病院	4週	一般外来 〇週 在宅診療 1週
	外科	030979	雄勝中央病院	4週	4週
	小児科	030979	雄勝中央病院	4週	4週
	産婦人科	030979	雄勝中央病院	4週	
	精神科	031246 032471	佐藤病院 横手興生病院	4週	
	一般外来	030979	雄勝中央病院	4週	
	病院で 定めた 必修 科目			週	
				週	
				週	

				<u>週</u>	
選択 科目	内科、循環器 科、消化器科、 外科、小児科、 産婦人科、麻酔 科、脳神経外 科、整形外科、 耳鼻咽喉科、泌 尿器科、救急 科、眼科、病理	030979 041514 031234 031221 031246 086135 031224 030929 030065 030829 030066 031217 032471 032476 034276 030784 030064 030401 031247	雄勝中央病院 倶知安厚生病院 湖東厚生病院 北秋田市民病院 佐藤病院 菅医院 能代厚生医療センター 秋田厚生医療センター 由利組合総合病院 大曲厚生医療センター 平鹿総合病院 かづの厚生病院 横手興生病院 秋田県血液センター 岩手県立山田病院 岩手県立宮古病院 秋田大学医学部附属病院 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院 町立羽後病院	<u>週</u>	<u>44 週</u>
備考： 内科・外科・小児科・産婦人科・一般外来は、原則として当院で研修する。ただし、必要に応じ自由選択科目に掲げる協力型研修病院・協力型研修施設での研修をもって研修とすることができる。 救急医療においては、4 週間を指導医のもと研修し、残りの 8 週間は月 3 回までの日・当直業務をもって 12 週以上の研修とすることができる。また、希望により日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院・救急部での研修を充てることができる。4 週間の麻酔科研修をもって救急研修 4 週間とすることができる。 一般外来研修は、原則として内科・外科・小児科の研修期間内に並行研修により行う。 到達目標に未到達がある場合は、到達目標達成に必要な診療科を割り当てることができる。					

臨床研修病院の名称：雄勝中央病院

臨床研修病院群名：雄勝中央病院臨床研修病院群

プログラム番号 030979702

(No. 1)

[illegible]

* 1 : 臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

* 2 : 「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

* 3 : 選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

6. 研修スケジュール（一年次 ☒ 二年次 ☐ いずれかに○）

(No. 1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野 ＊２	１～ ４週	５～ ８週	９～ １２週	１１～ １６週	１７～ ２０週	２１～ ２４週	２５～ ２８週	２９～ ３２週	３３～ ３６週	３７～ ４０週	４１～ ４４週	４５～ ４８週	４９～ ５２週
雄勝中央病院 (030979)	地 域 医 療	3												
倶知安厚生病院 (041514)														
湖東厚生病院 (031234)														
北秋田市民病院 (031221)														
佐藤病院 (031246)														
菅医院 (086135)														

[illegible]

臨床研修病院群を構成する関係施設相互間の連携体制

基幹型臨床研修病院名（病院施設番号）： 雄勝中央病院 （ 0 3 0 9 7 9 ）

臨床研修病院群名： 雄勝中央病院臨床研修病院群 臨床研修病院群番号：

基幹型臨床研修病院の指定申請の際には、基幹型臨床研修病院名の部分に申請病院名を記入してください。
既に臨床研修病院群番号を取得されている臨床研修病院群については、番号も記入してください。

医師の往来の有無	1. ☒ 有 ☐ 無（いずれかに○をつけてください。有に○をつけた場合には、以下に具体的な内容を記入してください。） 秋田大学（第一・二・三内科、呼吸器内科、第二外科、心臓外科、麻酔科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、産婦人科、泌尿器科、放射線科、皮膚科、第二病理）。 岩手医大（歯科口腔外科）。
医療機器の共同利用	1. 有 ☐ 無 ☒（いずれかに○をつけてください。有に○をつけた場合には、以下に具体的な内容を記入してください。）
合同臨床病理検討会の開催	1. 有 ☐ 無 ☒（いずれかに○をつけてください。有に○をつけた場合には、以下に具体的な内容を記入してください。）
その他の診療及び臨床研修 についての連携	1. ☒ 有 ☐ 無（いずれかに○をつけてください。有に○をつけた場合には、以下に具体的な内容を記入してください。） 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院・秋田厚生医療センター・東北大学病院・倶知安厚生病院・秋田大学医学部附属病院等から、それぞれ研修医の受入れを行っております。

※記入しないこと

令和5年度 内科疾病別（ICD 中分類）・患者数

雄勝中央病院

2024/4/24作成

コード	ICD分類	件数
	総数	600
I	(A00-B99) 感染症及び寄生虫症	35
A09	その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの	1
A16	呼吸器結核, 細菌学的又は組織学的に確認されていないもの	1
A31	その他の非結核性抗酸菌による感染症	1
A40	連鎖球菌性敗血症	1
A41	その他の敗血症	24
A48	その他の細菌性疾患, 他に分類されないもの	1
A49	部位不明の細菌感染症	2
B02	帯状疱疹 [帯状ヘルペス]	2
B34	部位不明のウイルス感染症	2
II	(C00-D48) 新生物<腫瘍>	33
C16	胃の悪性新生物<腫瘍>	2
C18	結腸の悪性新生物<腫瘍>	1
C34	気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	2
C61	前立腺の悪性新生物<腫瘍>	1
C78	呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物<腫瘍>	2
C79	その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物<腫瘍>	1
C82	ろく濾> 胞性リンパ腫	7
C83	非ろく濾> 胞性リンパ腫	9
C85	非ホジキン<non-Hodgkin> リンパ腫のその他及び詳細不明の型	2
C90	多発性骨髄腫及び悪性形質細胞性新生物<腫瘍>	4
C92	骨髄性白血病	2
III	(D50-D89) 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	16
D50	鉄欠乏性貧血	2
D51	ビタミンB12欠乏性貧血	1
D63	他に分類される慢性疾患における貧血	1
D65	播種性血管内凝固症候群 [脱線維素症候群]	11
D69	紫斑病及びその他の出血性病態	1
IV	(E00-E90) 内分泌, 栄養及び代謝疾患	69
E10	1型<インスリン依存性>糖尿病<IDDM>	2
E11	2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	34
E14	詳細不明の糖尿病	1
E16	その他の膵内分泌障害	1
E46	詳細不明のタンパク<蛋白>エネルギー性栄養失調 (症)	2
E86	体液量減少 (症)	17
E87	その他の体液, 電解質及び酸塩基平衡障害	11
E88	その他の代謝障害	1
V	(F00-F99) 精神及び行動の障害	2
F03	詳細不明の認知症	1

F45	身体表現性障害	1
VI	(G00-G99) 神経系の疾患	6
G00	細菌性髄膜炎, 他に分類されないもの	1
G03	その他及び詳細不明の原因による髄膜炎	1
G20	パーキンソン<Parkinson>病	1
G23	基底核のその他の変性疾患	1
G40	てんかん	2
VII	(H00-H59) 眼及び付属器の疾患	0
VIII	(H60-H95) 耳及び乳様突起の疾患	5
H81	前庭機能障害	5
IX	(I00-I99) 循環器系の疾患	35
I10	本態性 (原発性<一次性>) 高血圧 (症)	1
I11	高血圧性心疾患	1
I46	心停止	1
I48	心房細動及び粗動	5
I50	心不全	25
I63	脳梗塞	1
I69	脳血管疾患の続発・後遺症	1
X	(J00-J99) 呼吸器系の疾患	247
J11	インフルエンザ, インフルエンザウイルスが分離されないもの	1
J14	インフルエンザ菌による肺炎	1
J15	細菌性肺炎, 他に分類されないもの	11
J18	肺炎, 病原体不詳	147
J20	急性気管支炎	2
J43	肺気腫	2
J44	その他の慢性閉塞性肺疾患	2
J45	喘息	2
J46	喘息発作重積状態	1
J69	固形物及び液状物による肺臓炎	47
J80	成人呼吸窮<促>迫症候群<ARDS>	1
J82	肺好酸球症, 他に分類されないもの	1
J84	その他の間質性肺疾患	18
J85	肺及び縦隔の膿瘍	2
J90	胸水, 他に分類されないもの	7
J96	呼吸不全, 他に分類されないもの	2
XI	(K00-K93) 消化器系の疾患	8
K55	腸の血行障害	1
K57	腸の憩室性疾患	1
K70	アルコール性肝疾患	2
K74	肝線維症及び肝硬変	1
K81	胆のう<嚢>炎	1
K85	急性膵炎	1
K92	消化器系のその他の疾患	1
XII	(L00-L99) 皮膚及び皮下組織の疾患	7
L03	蜂巣炎<蜂窩織炎>	5

L27	摂取物質による皮膚炎	1
L40	乾せん<癬>	1
XIII	(M00-M99) 筋骨格系及び結合組織の疾患	16
M06	その他の関節リウマチ	2
M11	その他の結晶性関節障害	1
M30	結節性多発(性)動脈炎及び関連病態	1
M31	その他のえ<壊>死性血管障害	3
M35	その他の全身性結合組織疾患	3
M45	強直性脊椎炎	1
M46	その他の炎症性脊椎障害	2
M62	その他の筋障害	3
XIV	(N00-N99) 腎尿路生殖器系の疾患	57
N02	反復性及び持続性血尿	1
N04	ネフローゼ症候群	1
N05	詳細不明の腎炎症候群	1
N08	他に分類される疾患における糸球体障害	1
N10	急性尿細管間質性腎炎	9
N13	閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患	1
N17	急性腎不全	10
N18	慢性腎臓病	12
N30	膀胱炎	1
N39	尿路系のその他の障害	18
N49	男性生殖器の炎症性障害, 他に分類されないもの	1
N81	女性性器脱	1
XV	(O00-O99) 妊娠, 分娩及び産じょく<褥>	0
XVI	(P00-P96) 周産期に発生した病態	0
XVII	(Q00-Q99) 先天奇形, 変形及び染色体異常	2
Q61	のう<嚢>胞性腎疾患	2
XVIII	(R00-R99) 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されない	0
XIX	(S00-T98) 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	24
S00	頭部の表在損傷	1
S01	頭部の開放創	1
S12	頸部の骨折	1
S32	腰椎及び骨盤の骨折	1
S80	下腿の表在損傷	1
T17	気道内異物	1
T42	抗てんかん薬, 鎮静・催眠薬及び抗パーキンソン病薬による中毒	1
T67	熱及び光線の作用	14
T68	低体温(症)	2
T78	有害作用, 他に分類されないもの	1
XX	(V01-Y98) 傷病及び死亡の外因	0
XXI	(Z00-Z99) 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0
XXII	(U00-U89) 特殊目的用コード	38
U07	エマージェンシーコードU07	38

C. 初期臨床研修 経験が求められる疾患・病態

1. 血液・造血器・リンパ網内系疾患	1. 貧血(鉄欠乏貧血,二次性貧血)	12
	2. 白血病	1
	3. 悪性リンパ腫	3
	4. 出血傾向・紫斑病(播種性血管内凝固症候群:DIC)	2
2. 神経系疾患	1. 脳・脊髄血管障害(脳梗塞,脳内出血,くも膜下出血)	244
	2. 認知性疾患	2
	3. 脳・脊髄外傷(頭部外傷,急性硬膜外・硬膜下血腫)	252
	4. 変性疾患(パーキンソン病)	0
	5. 脳炎・髄膜炎	3
3. 皮膚系疾患	1. 湿疹・皮膚炎群(接触皮膚炎,アトピー性皮膚炎)	52
	2. 蕁麻疹	90
	3. 薬疹	3
	4. 皮膚感染症	22
4. 運動器(筋骨格)系疾患	1. 骨折	287
	2. 関節・靱帯の損傷及び障害	70
	3. 骨粗鬆症	0
	4. 脊柱障害(腰椎椎間板ヘルニア)	6
5. 循環器系疾患	1. 心不全	83
	2. 狭心症,心筋梗塞	17
	3. 心筋症	0
	4. 不整脈(主要な頻脈性,徐脈性不整脈)	29
	5. 弁膜症(僧帽弁膜症,大動脈弁膜症)	0
	6. 動脈疾患(動脈硬化症,大動脈瘤)	12
	7. 静脈・リンパ管疾患(深部静脈血栓症,下肢静脈瘤,リンパ浮腫)	2
	8. 高血圧症(本態性,二次性高血圧症)	45
6. 呼吸器系疾患	1. 呼吸不全	20
	2. 呼吸器感染症(急性上気道炎,気管支炎,肺炎)	199
	3. 閉塞性・拘束性肺疾患(気管支喘息,気管支拡張症)	17
	4. 肺循環障害(肺塞栓・肺梗塞)	3
	5. 異常呼吸(過換気症候群)	4
	6. 胸膜,縦隔,横隔膜疾患(自然気胸,胸膜炎)	15
	7. 肺癌	12
7. 消化器系疾患	1. 食道・胃・十二指腸疾患(食道静脈瘤,胃癌,消化性潰瘍,胃・十二指腸炎)	78
	2. 小腸・大腸疾患(イレウス,急性虫垂炎,痔核・痔瘻)	123
	3. 胆嚢・胆管疾患(胆石,胆嚢炎,胆管炎)	29
	4. 肝疾患(ウイルス性肝炎,急性・慢性肝炎,肝硬変,肝癌,アルコール性肝障害,薬物性肝障害)	7
	5. 膵臓疾患(急性・慢性膵炎)	11
	6. 横隔膜・腹壁・腹膜(腹膜炎,急性腹症,ヘルニア)	11
8. 泌尿系(体液・電解質バランスを含む。)疾患	1. 腎不全(急性・慢性腎不全,透析)	13
	2. 原発性糸球体疾患(急性・慢性糸球体腎炎症候群,ネフローゼ症候群)	0
	3. 全身性疾患による腎障害(糖尿病性腎症)	0
	4. 泌尿器科的腎・尿路疾患(尿路結石,尿路感染症)	97
9. 妊娠分娩と生殖器疾患	1. 妊娠分娩(正常妊娠,流産,早産,正常分娩,産科出血,乳腺炎,産褥)	36
	2. 女性生殖器及びその関連疾患(月経異常(無月経を含む。),不正性器出血,更年期障害,外陰・陰・骨盤内感染症,骨盤内腫瘍,乳腺腫瘍)	28
	3. 男性生殖器疾患(前立腺疾患,勃起障害,精巣腫瘍)	5
10. 内分泌・栄養・代謝系疾患	1. 視床下部・下垂体疾患(下垂体機能障害)	1
	2. 甲状腺疾患(甲状腺機能亢進症,甲状腺機能低下症)	0
	3. 副腎不全	0
	4. 糖代謝異常(糖尿病,糖尿病の合併症,低血糖)	19
	5. 高脂血症	0
	6. 蛋白及び核酸代謝異常(高尿酸血症)	2
11. 眼・視覚系疾患	1. 屈折異常(近視,遠視,乱視)	3
	2. 角結膜炎	26
	3. 白内障	0
	4. 緑内障	0
	5. 糖尿病,高血圧・動脈硬化による眼底変化	0
12. 耳鼻・咽喉・口腔系疾患	1. 中耳炎	12
	2. 急性・慢性副鼻腔炎	3
	3. アレルギー性鼻炎	3
	4. 扁桃の急性・慢性炎症性疾患	31

	5. 外耳道・鼻腔・咽頭・喉頭・食道の代表的な異物	18
13. 精神・神経系疾患	1. 症状精神病	0
	2. 認知症(血管性痴呆を含む。)	0
	3. アルコール依存症	0
	4. 気分障害(うつ病,躁うつ病を含む。)	0
	5. 統合失調症(精神分裂病)	0
	6. 不安障害(パニック症候群)	3
	7. 身体表現性障害,ストレス関連障害	4
14. 感染症	1. ウイルス感染症(インフルエンザ,麻疹,風疹,水痘,ヘルペス,流行性耳下腺炎)	660
	2. 細菌感染症(ブドウ球菌,MRSA,A群レンサ球菌,クラミジア)	5
	3. 結核	0
	4. 真菌感染症(カンジダ症)	0
	5. 性感染症	0
	6. 寄生虫疾患	1
15. 免疫・アレルギー疾患	1. 全身性エリテマトーデスとその合併症	0
	2. 慢性関節リウマチ	0
	3. アレルギー疾患	11
16. 物理・化学的因子による疾患	1. 中毒(アルコール,薬物)	15
	2. アナフィラキシー	85
	3. 環境要因による疾患(熱中症,寒冷による障害)	67
	4. 熱傷	1
17. 小児疾患	1. 小児けいれん性疾患	17
	2. 小児ウイルス感染症(麻疹,流行性耳下腺炎,水痘,突発性発疹,インフルエンザ)	6
	3. 小児細菌感染症	2
	4. 小児喘息	2
	5. 先天性心疾患	0
18. 加齢と老化	1. 高齢者の栄養摂取障害	10
	2. 老年症候群(誤嚥,転倒,失禁,褥瘡)	8

初期臨床研修 経験すべき症状・病態・疾患

A. 頻度の高い症状	1. 全身倦怠感	48
	2. 不眠	0
	3. 食欲不振	31
	4. 体重減少,体重増加>	0
	5. 浮腫	6
	6. リンパ節腫脹	2
	7. 発疹	11
	8. 黄疸	0
	9. 発熱	562
	10. 頭痛	164
	11. めまい	207
	12. 失神	63
	13. けいれん発作	39
	14. 視力障害,視野狭窄	5
	15. 結膜の充血	10
	16. 聴覚障害	1
	17. 鼻出血	8
	18. 嘔声	4
	19. 胸痛	105
	20. 動悸	64
	21. 呼吸困難	56
	22. 咳・痰	107
	23. 嘔気・嘔吐	149
	24. 胸やけ	5
	25. 嚥下困難	2
	26. 腹痛	230
	27. 便通異常(下痢,便秘)	88
	28. 腰痛	116
	29. 関節痛	192
	30. 歩行障害	10
	31. 四肢のしびれ	48
	32. 血尿	22
	33. 排尿障害(尿失禁・排尿困難)	80
	34. 尿量異常	7
	35. 脱水	64
	36. 不安・抑うつ	2
B. 緊急を要する症状・病態	1. 心肺停止	74
	2. ショック	3
	3. 意識障害	80
	4. 脳血管障害	2
	5. 急性呼吸不全	7
	6. 急性心不全	4
	7. 急性冠症候群	0
	8. 急性腹症	0
	9. 急性消化管出血	11
	10. 急性腎不全	0
	11. 流・早産及び満期産	1
	12. 急性感染症	7
	13. 外傷	511
	14. 急性中毒	0
	15. 誤飲,誤嚥	25
	16. 熱傷	27
	17. 精神科領域の救急	2